



2021年3月4日
ネスレ日本株式会社

健康意識の高まりの中、「キットカット」から約10年ぶりの新シリーズが登場！
麦の恵みの「キットカット ミニ 全粒粉ビスケット in」3月8日(月)より発売
公式アンバサダー門脇麦さんも、クセになるザクザク食感をイチ推し！

ネスレ日本株式会社(本社:兵庫県神戸市、代表取締役 社長 兼 CEO: 深谷 龍彦)は、「全粒粉ビスケット」を練りこんだ新製品「キットカット ミニ 全粒粉ビスケット in」を3月8日(月)より発売します。



英国を発祥とし、世界100以上の国・地域で販売されている「キットカット」は、1973年に日本で発売されて以来、多くの方々にご愛顧いただいている、国内売上 No.1(※1)のチョコレートブランドです。

近年、消費者の皆さまの健康意識が高まっていることを受け、ネスレでは「キットカット」を健康的な食生活の中で楽しんでいただきたく、製品開発やコミュニケーションを続けています。2020年秋にはおいしさはそのまま、従来品と比較して砂糖の使用量を減らしたレシピを開発する(※2)など、よりよい素材を使用した「キットカット」製品のレシピ開発にも取り組んでいます。

「キットカット ミニ 全粒粉ビスケット in」は、赤いパッケージでお馴染みの「キットカット」、2010年の販売開始以降、控えめな甘さで多くのお客様に支持されている「キットカット オトナの甘さ」シリーズに続く、「キットカット」ブランド約10年ぶりの新シリーズです。チョコレートコーティング(※3)に練りこんだ「全粒粉ビスケット」が特長で、ザクザクとした食感と香ばしい風味を楽しめます。全粒粉が健康素材として注目を集めている背景を受け、ネスレは専用の「全粒粉ビスケット」を開発し、「キットカット」で手軽に全粒粉の美味しさを楽しめる製品を目指しました。

また、新製品の特長が「全粒粉ビスケット」であることを分かりやすく、楽しく伝えるため、製品名と親和性が高い名前の女優「門脇“麦”さん」が本製品の公式アンバサダーに就任すると共に、門脇さんが出演する TVCM を3月8日(月)より放映します。

(※1) 出典 インテージ SRI /チョコレートカテゴリー/2020年1-12月/ブランド販売金額シェア1位

(※2) 2020年9月配信プレスリリース https://www.nestle.co.jp/sites/g/files/pydnoa331/files/2020-09/20200901_kitkat.pdf

(※3) チョコレートコーティング:本「キットカット」のウエハースの外側部分

■製品概要

製品名	内容量	種類別名称	希望小売価格 (税込)	販売場所	発売日
キットカット ミニ 全粒粉ビスケット in	3 枚	菓子	129 円	全国のスーパーマーケットや ドラッグストアなど	2021 年 3 月 8 日(月)
	13 枚		540 円		
	11 枚		324 円	全国のコンビニエンスストア	



画像(左より)

キットカット ミニ 全粒粉ビスケット in 3 枚、キットカット ミニ 全粒粉ビスケット in 13 枚、
キットカット ミニ 全粒粉ビスケット in 11 枚

■「キットカット」新 TVCM

- ◇出演 門脇 麦さん
- ◇放送開始日 2021 年 3 月 8 日(月)
- ◇公開ブランドサイト https://nestle.jp/brand/kit/mugi_kitkat/



以上

参考資料

■キットカット

1935年にイギリスで発売以来、世界100ヶ国以上で販売されているチョコレートブランド。日本では、“キット、願いかなく。”を合言葉に、長きにわたり、受験生など頑張る人々を応援する活動を継続する中で、受験シーズンだけでなく、年間を通じた様々なシーンで、大切な人に応援や感謝の気持ちを伝えるコミュニケーションツールとして親しまれています。

赤いパッケージでお馴染みの「キットカット ミニ」は、サクサクのウエハースとチョコレートの絶妙なバランスが特長のロングセラー商品で、「キットカット ミニ オトナの甘さ」は、オトナにぴったりの控えめな甘さと食感が楽しむことができる商品として2010年より販売を開始し、「抹茶」や「ストロベリー」などのフレーバーを複数展開しています。また、人気パティシエが監修する「キットカット ショコラトリー」や、抹茶味や日本酒味などの累計400種類を超えるフレーバー展開を通じて、国内外のお客様から高い支持を得ています。



画像:「キットカット ミニ」



画像:「キットカット ミニ オトナの甘さ」シリーズ

■門脇麦さん

1992年8月10日生まれ、東京都出身。2011年にテレビドラマで女優デビュー。2014年、映画『愛の渦』でヒロインを好演し、第88回キネマ旬報ベスト・テン新人女優賞をはじめ、数々の新人賞を受賞。近年の出演作に、映画『二重生活』『太陽』(16)『ナミヤ雑貨店の奇蹟』(17)『ここは退屈迎えに来て』(18)『チワワちゃん』『さよならくちびる』(19)、主演映画『止められるか、俺たちを』(18)で、第61回ブルーリボン賞主演女優賞を受賞。ドラマでは連続ドラマ小説「まれ」(15)「トメの接吻」(18)、NHK大河ドラマ「麒麟がくる」(20)ではヒロインを務めた。舞台ではミュージカル「わたしは真悟」(16—17)「フェードル」(17)「賈作 桜の森の満開の下」(18)など。主演映画「あのこは貴族」が21年2月に公開。

